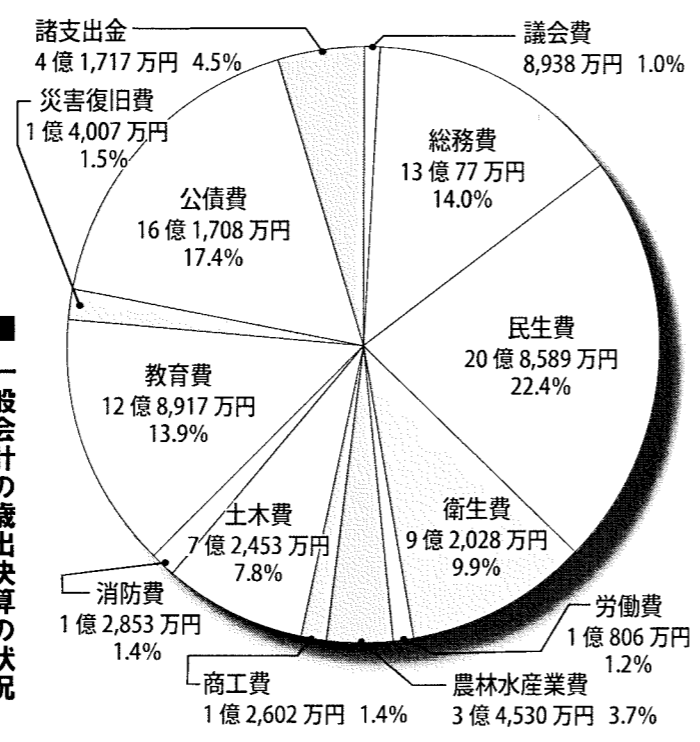


- ### 用語の解説
- 議会費…議会の活動に要する経費
 - 総務費…全般的な管理事務、徴税事務、住民窓口事務など町が通常必要とする総合的な事業費
 - 民生費…子育て支援や高齢者福祉、障害者福祉など
 - 衛生費…各種予防接種や健康診断、母子保健、公害対策、環境衛生など
 - 労働費…就労支援に要する経費
 - 農林水産業費…農林道の管理や農林業の振興、農業委員会経費など
 - 商工費…商工業や観光の振興など
 - 土木費…町道や河川、町営住宅の維持管理など
 - 消防費…消防団活動経費や防火水槽の設置など
 - 教育費…学校教育費、生涯学習費、生涯スポーツ費など
 - 公債費…借入金(町債)の元金や利子の支払い
 - 諸支出金…各種基金積立金

平成23年度

一般会計歳出 92億9,225万円

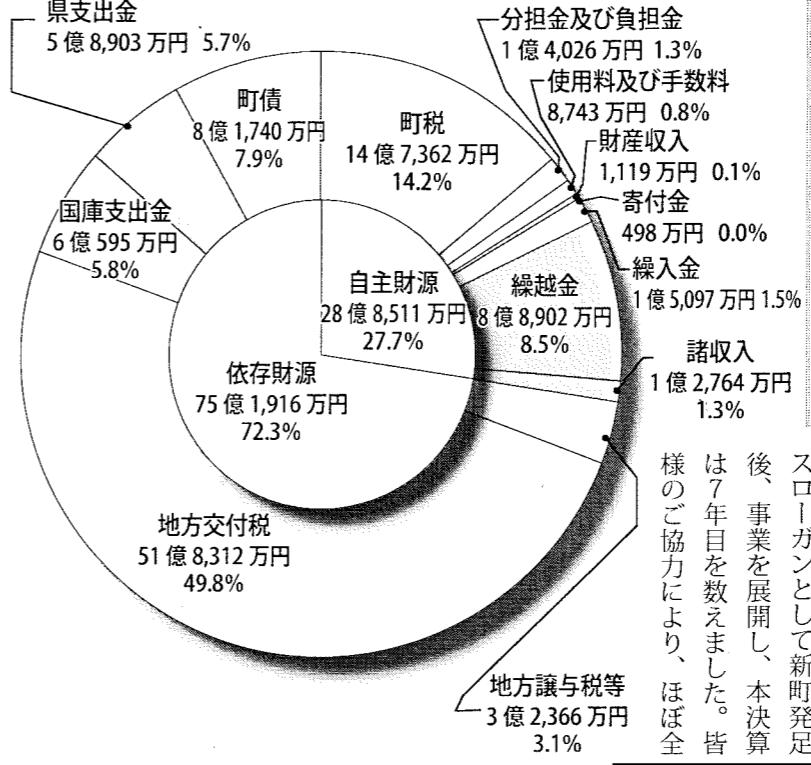


一般会計の歳出決算の状況

昨年度と比較し、歳出全体では4億6,743万円の減額となりました。増額したものは、台風12号・15号の影響による土木費・災害復旧費、下部地区公民館の建設による教育費などです。減額したものは、平成22年度に下部コミュニケーションテレビの民営化による設備更新が終了したこと等、発行額の縮小や近年続けてきた繰上償還により2億9,000万円減の公債費です。増額に比べ減額が大きくなりました。

町の決算

一般会計歳入 104億4,277万円



決算の概要

平成23年度の身延町一般会計と21の特別会計が、9月定例議会で慎重に審議され、認定されました。「安らぎと活力あるひらかれたまち」を将来像として、第一次総合計画や行政改革プランに基づき「地域で協働でつくる身延の町づくり」をスローガンとして新町発足後、事業を展開し、本決算は7年目を数えました。皆様のご協力により、ほぼ全

ての会計が黒字決算となりましたが、依然日本経済は先行き不透明であり、まだまだ、財政健全化に努めていかねばなりません。

昨年度と比較し、歳入全体では2億4,443万円の減額となりました。減額の要因としては、政府の景気対策にともなう地方交付税、国庫支出金の増額が昨年度で終了したことや、経済事情の影響をうけ、町営施設での売り上げなどの諸収入が大幅に減額したことによるものです。

一般会計の歳入決算の状況

平成23年度の主な普通建設事業

【一般会計】

- 農林水産業費
 - 農業用施設整備事業 6,092万円
 - 林道改良整備・小規模治山事業 3,993万円
- 土木費
 - 町道維持工事 8,374万円
 - 町道改良舗装工事 1億4,428万円
- 教育費
 - 小中学校エアコン設置事業 6,454万円
 - 下部地区公民館建設事業 2億4,198万円
- 災害復旧費
 - 農地・農林業施設災害復旧事業 8,786万円
 - 公共土木災害復旧事業 4,459万円

【特別会計】

- 簡易水道事業特別会計
 - 身延中央簡易水道事業 6,399万円
 - 相又簡易水道事業 7,126万円
 - 湯町簡易水道事業 2億3,885万円
 - 下部簡易水道事業 2,821万円
 - 中富南部簡易水道事業 4,729万円
- 下水道事業特別会計
 - 身延処理区整備事業 3億3,462万円
 - 下部処理区整備事業 2,800万円

●平成23年度末地方債残高
 一般会計分 90億1,411万6千円 (1人あたり61万5千円)
 特別会計分 77億509万円 (1人あたり52万5千円)

●平成23年度末基金残高
 一般会計分 48億9,478万4千円 (1人あたり33万3千円)
 ※1人あたりの金額は、14,656人(H24.4.1現在人口)で計算

一般会計・特別会計の状況

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
一般会計	10,404,269,554	9,292,249,068	1,112,020,286
特別会計	6,377,845,678	6,278,002,610	99,843,068
国民健康保険特別会計	2,053,761,801	1,981,271,863	72,489,938
後期高齢者医療特別会計	440,200,436	440,053,176	147,260
介護保険特別会計	2,063,978,413	2,041,888,320	22,090,093
介護サービス事業特別会計	6,946,593	6,025,541	921,052
簡易水道事業特別会計	961,244,957	961,168,570	76,387
農業集落排水事業等特別会計	22,502,290	22,410,268	92,022
下水道事業特別会計	759,783,045	759,677,855	105,190
青少年自然の里特別会計	56,188,539	56,188,539	0
下部奥の湯温泉事業特別会計	7,113,843	5,801,385	1,312,458
大八坂及び川尻並びに山之神外十五山恩賜林保護財産区	455,795	275,077	180,718
広野村上外九山恩賜林保護財産区	1,367,591	1,202,293	165,298
第一日影みそね沢恩賜林保護財産区	179,727	53,385	126,342
第二日影みそね沢及び石原外二山恩賜林保護財産区	197,474	117,173	80,301
大久保外七山恩賜林保護財産区	499,613	128,972	370,641
仙王外五山恩賜林保護財産区	432,586	280,831	151,755
姥草里外七山恩賜林保護財産区	671,280	420,846	250,434
入ヶ岳外二山恩賜林保護財産区	492,778	217,598	275,180
西嶋財産区	984,294	663,464	320,830
曙財産区	181,176	0	181,176
大河内地区財産区	334,069	100,454	233,615
下山地区財産区	329,378	57,000	272,378
合計	16,782,115,232	15,570,251,678	1,211,863,554

財政健全化に向けて

9月定例議会において、平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を報告いたしました。本町において、これらの比率は国が示す早期健全化基準を下回っており良好であり、削減に努めてまいります。

比較的高い比率であり、厳しい財政状況には変わりありません。引き続き歳入では自主財源の確保を図るため、町税等の徴収率向上に一層の努力をし、歳出においては経常経費の削減に努めてまいります。